

# きずな

2007年 6月21日

NO 655

赤旗井原出張所

井原市井原町103 (62-6200)

井原市議会6月定例会で13日に6議員が質問しました。日本共産党の森本ふみお議員と石井敏夫議員の質問と執行部の答弁の概要は次のとおりです。

## 森本ふみお議員の質問の概要

### 一般競争入札の導入案を具体的かつ詳細に明らかに

今年8月から試行的に「制限付一般競争入札」を試行する予定のようですが、制限の内容の詳細をお知らせください。

工事の予定価格4千万円以上(過去の実績:入札全体の僅か8%程度)を1千万円以上(過去の実績:入札全体の20%程度)にしてはどうですか。

### 学校の耐震化優先度調査の結果と今後の対応は

昨年度末までに学校施設の耐震化優先度調査のすべてを完了させるため、予算化して取り組んだが100%完了しましたか。

調査全体の結果を具体的にお聞かせください。そして、その結果を受けて、今後の対策・方針をどのように立てておられますか。



### 障害者に対する避難所対策とバリアフリー化の計画作成を

身体障害者や視覚障害者に対する避難所対策は十分でしょうか。

また、施設に避難する場合のバリアフリー化が求められます。

避難所対策および施設のバリアフリー化の計画作成が必要だと思いますが、これまでの現状と今後の対策をどう考えておられますか。

施設改修時と言わず、緊急度などを調査して対応するのが行政の仕事ではないのか。

### 石綿セメント水道管(石綿管)の早急な更新を

先月、岡山市の水道管破裂事故で石綿管使用が大きく取り上げられました。新聞報道によりますと、本市でも現在、簡易水道で2.2km使っており、数年で更新を完了するとされており、

数年でと言わず、早急な更新をするべきだと思いますが、そのおつもりはおありでしょうか。

## 左の質問に対する執行部答弁の概要

**制限の内容\*** 土木、建築工事の予定価格4千万円以上について行う \*最低入札者だけを契約条件を満たしているか事後に審査 \*落札率が予定価格の95%以上の入札は参加業者すべてに見積書を提出させ談合等が無かったか調査する \*今まで事前公表していた入札参加業者を、事後公表にする \*一部郵便入札を試行。

とりあえず試行的に4千万円以上で実施し、その後の状況を踏まえながら改革を進めていきたい。

優先度調査の対象建物は、幼・小・中を合わせて42棟。現在、統合について協議中の学校を除いて調査は100%完了している。

優先度調査の結果: **校舎**・優先度の高い優先度ランク1は井原中の3棟、同2は7棟、同3は8棟、同4は12棟、同5は1棟。

**屋内運動場**・優先度ランク3は7棟、同4は3棟。

今後は、優先度順位の高い井原中の校舎3棟について、予算化し耐力度調査を行う。残りについても、安心・安全な環境整備を図るために、この結果に基づき、財政状況等も勘案しながら順次耐震診断をしていきたい。

市内の避難所は屋内102箇所、屋外33箇所計135箇所を指定。屋内102箇所のうち、車椅子利用者や高齢者に配慮して出入り口等にスロープがある施設は50箇所。様式トイレは135箇所中77箇所に設置している。障害者対応のトイレは39箇所。これでは不十分だと考えている。

今後は、施設改修時にバリアフリー化などの整備を進めたい。

計画作成については、これらに関わる市の各種計画に基づき進めていきたい。

老朽化が進む中で大きな課題だと思っている。今後調査をすることも含めて検討したい。

現在の石綿管は2,093mで、与井、佐原地区(中央簡易水道)の1,154m、種・花滝簡易水道の939mに敷設している。

中央簡水については現在整備を進めており約280mを更新予定。残る870mについては、今計画している下水道事業で与井・佐原市街地を整備する時期に合わせ、水道管移転などに際して、平成22年までには更新を完了させたい。

種・花滝は財源確保を検討し更新したい。

森本ふみお議員の質問の概要

有権者の投票行動を阻害する投票所統合をしないこと

投票所の統合は、有権者の投票行動を阻害する大きな要因になることは明らかです。一票を投じる権利の保障をするためにも、絶対に統合すべきではないと考えますが、どうですか。

現在、有権者100人未満の投票所が芳井に3箇所、美星に1箇所の計4箇所あるが、有権者の数ががどのくらいになったら統合を考えることになるのか。

市民病院でのジェネリック医薬品（後発医薬品）の使用促進を

平成14年12月市議会一般質問で、市民病院での後発医薬品の使用促進を提言いたしました。その時「できるだけ使えるような対応をしてみたい」と言われました。

その後、どのように促進されたのか、平成14年以降の後発医薬品の取り扱い品目と金額のそれぞれが全体に占める割合の変化を数字的にお示しください。また、今後の方針もお聞かせください。

市が主催などするイベント時には十分な仮設トイレの設置を

市が主催や共催した時のイベントなどで、仮設トイレを十分設置するよう、イベントの都度検討していただきたい。



石井敏夫議員の質問の概要

高齢者の交通手段の確保について

車を運転しない高齢者の多くが、福祉行事などへの参加、また医療機関への通院にタクシーを利用しておられます。その人たちから「タクシー利用料金を助成してほしい」という声を聞きます。

そこで、対象者にシルバータクシー助成券を発行して、利用しやすくしてはどうですか。

また、井原市福祉基金助成事業の交通関係の助成対象者の条件の緩和を考えていただきたい。

生活保護者の住居を奪うリバースモーゲージ制度について

リバースモーゲージ制度は、3月の生活保護法の実施要領改定で厚生労働省が全国に通知し、4月から実施されています。

昨年9月に国がリバースモーゲージ制度についての実態調査を行いました。本市の対象者はどのくらいですか。

この制度を口実に申請拒否や却下をすべきでない。個々の事情を踏まえて判断できるように運

左の質問に対する執行部答弁の概要

選挙管理委員会(選管)に意向を聴取したところ「現時点では(統合を)考えていない」とのことでした。

適正に選挙の管理執行ができないことになるのが30人、20人等と具体的には考えてない。有権者が極端に減る段階で市選管として県選管の考えを聞きながら検討していく問題だと考えている。

先週の「きずな」の2面の表の右下の「中学校児童数合計」は「中学校生徒数合計」の誤りです。お詫びして訂正いたします。

後発医薬品の取り扱い割合(全品目数、後発薬品数、後発薬使用割合、後発薬の全体に占める金額割合の順)

平成14年度	890品目	52品目	5.8%	1.1%
平成15年度	879品目	48品目	5.5%	1.4%
平成16年度	875品目	62品目	7.1%	1.7%
平成17年度	923品目	75品目	8.1%	3.0%
平成18年度	881品目	75品目	8.5%	4.5%

国の方針等について、今後、医師、薬剤師を中心に研究し、使用拡大を進めていきたい。

市が主催等で行う参加者が千人を超える屋外イベントは、観光関連が7件、スポーツ2件、健康福祉1件、環境1件合計11件。これまでに改善要望が出たところは改善した。

今年苦情が寄せられた産業祭りは設置場所や設置数を検討したい。

左の質問に対する執行部答弁の概要

芳井、井原地区からの市の福祉行事(春開催の井原老人福祉センターまつり、井原市戦没者追悼式、高齢者スポーツ大会、市長杯ゲートボール大会、井原市老人会連合会大会)への参加についてはバス送迎を行っている。

医療機関などへの通院については「井原市福祉基金助成事業」の一つに福祉タクシー料金、福祉バス料金の助成がある。今後とも井原あいあいバスなどを始めとする、公共交通体系の機能強化、利用促進を図ることとし、新たにシルバータクシー助成券発行を、今の段階では考えていない。

井原市の平成18年9月末現在での貸付け対象見込み世帯は1世帯です。

この貸付制度を口実に申請を拒否することはないし、保護の申請権を侵害しないことは言うまでもありません。

リバースモーゲージ制度とは

要保護世帯が、評価額500万円以上の居住用不動産を所有している65歳以上の方の場合、これを担保に評価額の7割までの範囲で貸付け、更に年3%程度の利子がつく生活保護基準の1.5倍相当の貸付で、死後不動産の処分によって返済する制度。